

ロジックモデル④

課題「地域とのつながりが強いと思う人の増加(全世代)」

担当：Cグループ
(つながりグループ)

- 重点施策3 健康データの見える化
- 重点施策4 つながりづくりによる職域も含めた「宇治まるごと健康づくり」

インプット(やるべきこと)		インプットに求める成果	アウトプット	アウトカム		インパクト
行政	関係団体			短期アウトカム	長期アウトカム	
・うじスマートウェルネス推進事業(健康データ・地域分析)の実施	・地域の健康課題共有のためのワークショップの実施(地域団体・行政)	地域の健康課題を市民、地域、行政が共有できる。	・ワークショップの実施回数			
・地域で集える場等の情報収集・発信 ◆子育て世代がつながり、交流できるよう、地域子育て支援拠点等の地域資源の情報提供 ◆健康づくりや食に関する地域ネットワークの強化	◆身近で人とのつながりが持てる環境づくり(地域団体) ◆健康づくりに活用できる場(施設や地域コミュニティ)の増加(地域団体) ◆様々な世代・場所で共食の機会の増加(地域団体)	食や防災など、多様な取り組みを取り入れ、身近な場所で多世代共生の居場所づくりを支援し、人と人、人と地域がつながり活躍することができる。	・宇治市健康づくり・食育アライアンス加入団体数 ・宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」会員数 ・健康づくりや食に関するイベントの開催回数	★「地域活動に参加している人(65歳以上)」の増加 ★「生きがいや趣味のある人(16歳以上)」の増加 ★「週に3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている人(3歳児・小学5年生・中学2年生)」の増加	★「地域とのつながりが強いと思う人(16歳以上)」の増加	★健康寿命の延伸
◆フレイルや健康管理についての知識の普及啓発 ◆地区組織活動及び自主グループの育成・支援	・高齢者の通いの場づくり(地域) ・介護予防に活用できる場の増加(地域団体) ◆食や余暇活動等を通じたつながりの場や機会の増加(地域団体)	地域住民が主体の活動の支援により、身近な場所で介護予防に取り組める。	・通いの場の増加 ・自主グループの育成数 ・出前講座(65歳以上)の実施回数	★週3日以上、家族や友人と一緒に食事をする人(16歳以上)の増加		

★ 計画の目標項目として設定している項目

「全世代が地域や人とつながりたくなる場づくりや仕組みづくり」をテーマに、今後の行政・関係団体の取組内容について、グループワークにて検討